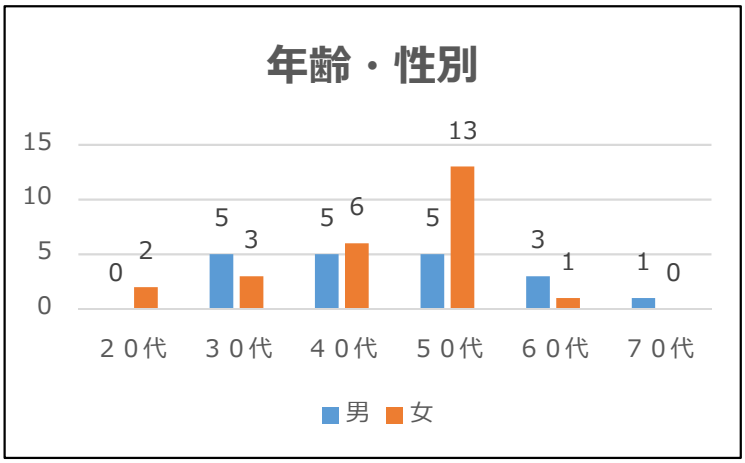
平成29年度 「病院での在宅医療連携研修会」アンケート集計

研修参加総数　52名 （アンケート回収　44名　　男性：19名　　女性：25名　　回収率84．6%）

1　アンケート回答者自身について

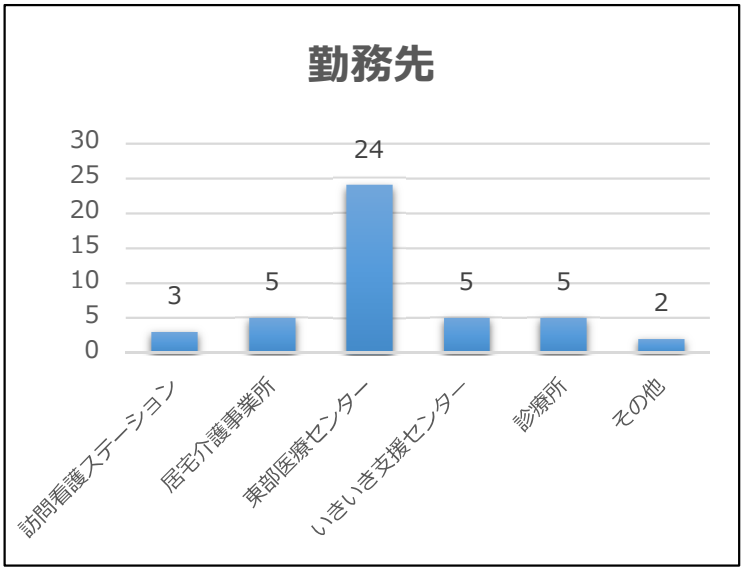
●年齢・性別

	性別	
年齢	男	女
20代	0	2
30代	5	3
40代	5	6
50代	5	13
60代	3	1
70代	1	0
計	19名	25名



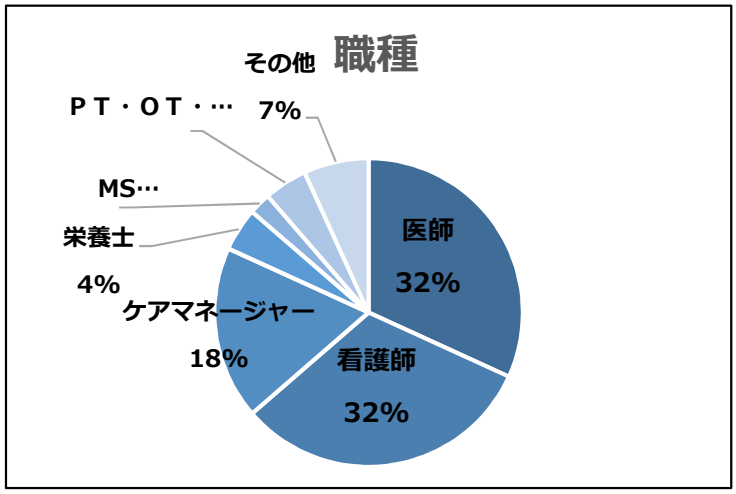
●勤務先

	人数	
訪問看護ステーション	3	
居宅介護事業所	5	
東部医療センター	24	
いきいき支援センター	5	
診療所	5	
その他	2	←行政事務1名含
計	44名	



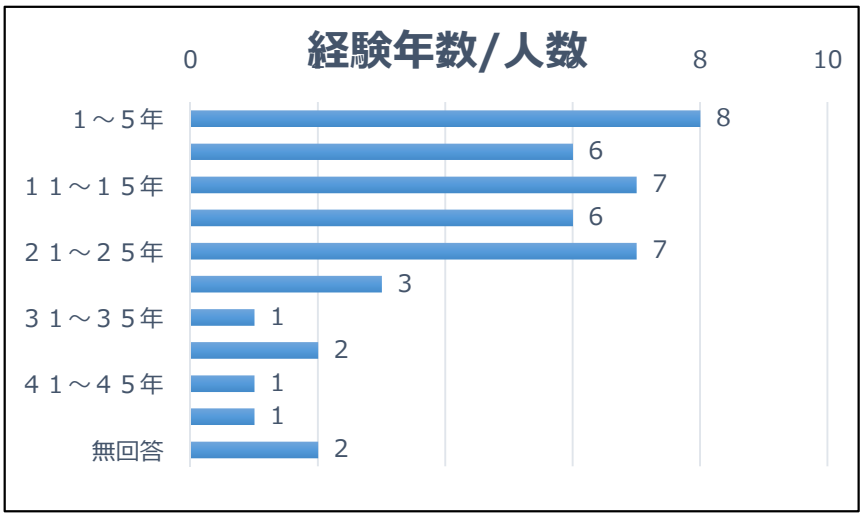
●職種

	人数
医師	14
看護師	14
ケアマネージャー	8
栄養士	2
MSW	1
PT・OT・ST	2
その他	3
計	44



●経験年数

経験年数	人数
1～5年	8
6～10年	6
11～15年	7
16～20年	6
21～25年	7
26～30年	3
31～35年	1
36～40年	2
41～45年	1
46～50年	1
無回答	2
計	44

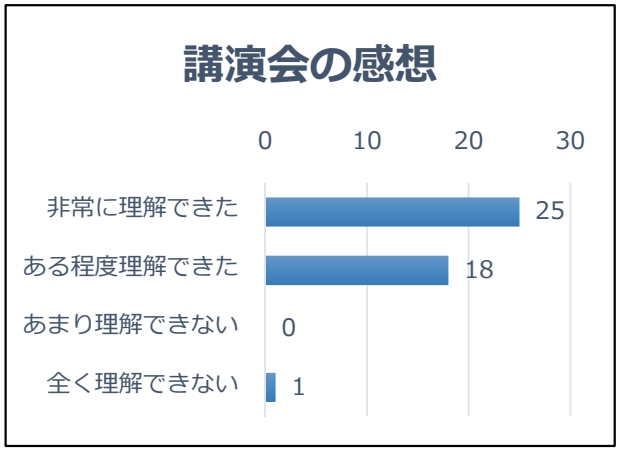


2 研修会の全般評価

●講演会

項目	人数
非常に理解できた	25
ある程度理解できた	18
あまり理解できない	0
全く理解できない	1
計	44名

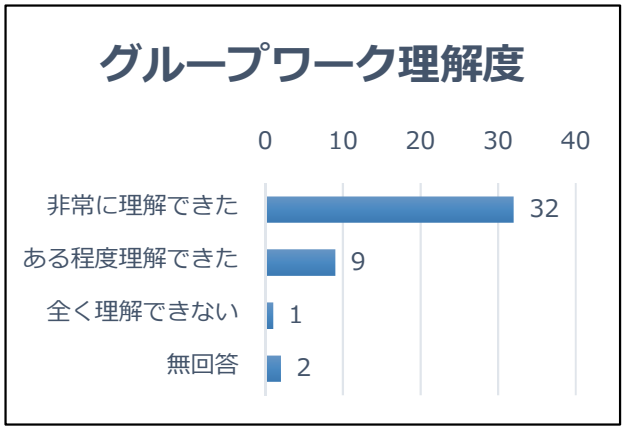
＜理由＞
・医師の生の声で退院支援や在宅環境栄養の重要性についての意識を聞くことが出来た。
・分かり易く興味深い内容であった。
・医療の専門用語が難しい。



●グループワークについて

項目	人数
非常に理解できた	32
ある程度理解できた	9
全く理解できない	1
無回答	2
計	44

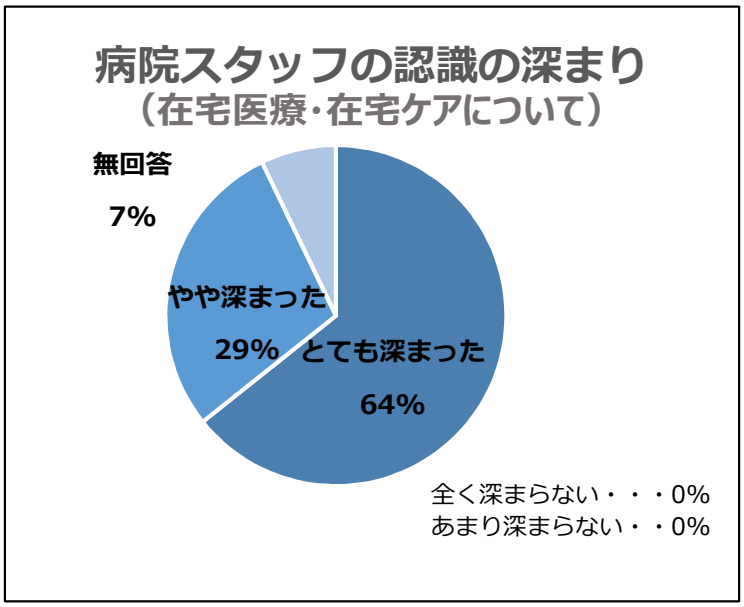
＜理由＞
・病院の中の誰が在宅関係者との情報共有をどのように行うか、実際に働く方々の姿を見ることが出来た。
・いろいろな立場の意見が聞けた。



3　病院のスタッフの方への設問
●在宅医療・在宅ケアについて

項目	人数
とても深まった	18
やや深まった	8
無回答	2
計	26

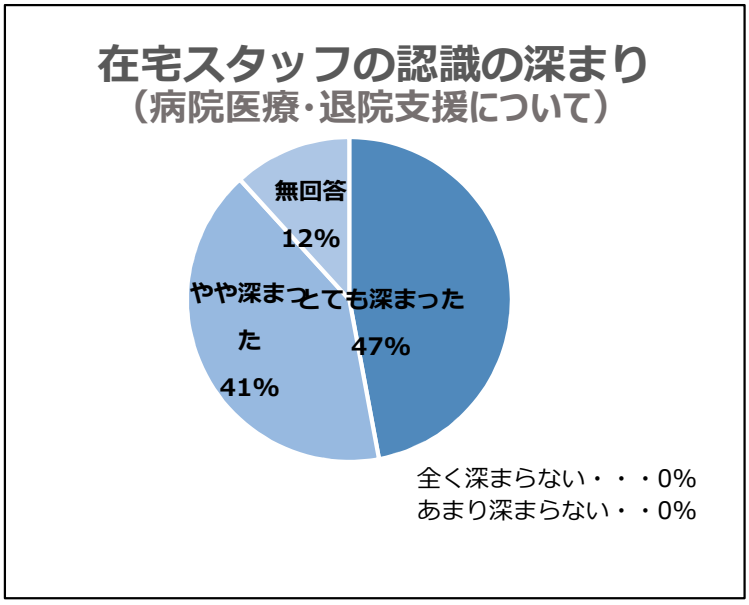
理由
・グループワークを通して交流できた。
・もっと時間があったらさらに話し合いが出来たと思う。



4　在宅スタッフの方への設問
●病院医療・退院支援について

項目	人数
とても深まった	8
やや深まった	7
無回答	2
計	15

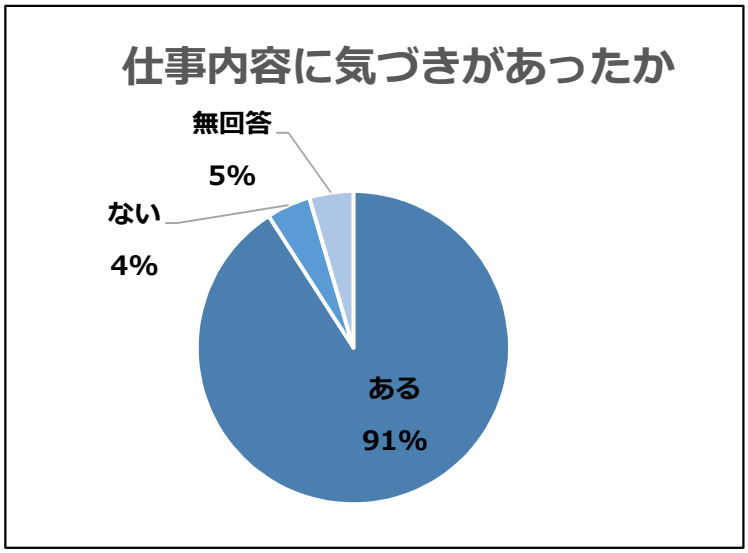
理由	
・在宅でできることをもっと知ってもらうための啓発が必要であることを知ることが出来たため。	・グループワークでのメンバー医師の考えや病棟看護師の気持ちが聞けた。
・在宅医の力強いお言葉でこれからも頑張ろうと思った。	・病院在宅での切れ目のない支援が必要と改めて感じた。
・在宅でどんなことができるかを病棟、病院の方々に少し知っていただけたのではないかと思った。	



3、4の設問の無回答者
2名

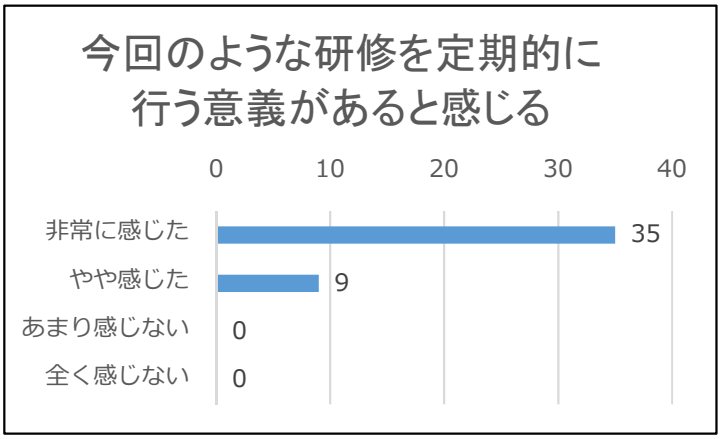
5　自分の仕事内容に関する気づきについて

項目	人数
ある	40
ない	2
無回答	2
計	44



６　このような研修を定期的に行う意義があると感じますか。

項目	人数
非常に感じた	35
やや感じた	9
あまり感じない	0
全く感じない	0
計	44



理由

＜非常に感じた＞

・普段在宅の方と交流する機会がないので、少しでも交流できると今後患者が在宅に戻る時の連携に役立つ。
・病院スタッフは、もっと在宅医療について理解する必要があると感じる。
・他職種の方々との意見交換は大切であり参考になるため。
・病院の通常業務で在宅について時間を取って考える機会は少なく、貴重な研修と思う。
・在宅での医療介護について知っていただける機会として感じた。
・在宅の良さを研修会参加の方達に知ってもらえる、顔見知りになれると今後相談（入退院時の）がしやすいと感じた。
・病院スタッフの接し方、考え方、利用者と家族への思いが理解できた。
・医療機関と在宅への機関との顔の見える関係を築けるため。
・地域包括ケアシステムについて病院に伝えることが必要。
・病院に勤務されている医師・看護師など在宅医療の理解がされていないこと、もっともっと伝える努力が必要。
・地域包括ケアシステムについて病院に伝えることが必要。

＜やや感じた＞

・他の業務の方の意見を伺うことができ、違う角度（立場）からの見方がわかり、大変勉強になった。
・病院と在宅の医療体制や環境の違いを知ることができ、仕事上で視野が広がるから。

７　改善すべき点・ご意見・ご感想について

・開催時期については月末参加は厳しい、保険業務があるので。
・時間がおしたらグループワークか発表でちゃんとまいてほしいです。仕事切り抜けてきてるので。
・多職種でのグループワークは楽しかったです。ありがとうございました。
・スライドに誤字あり。「増設」→「造設」など、複数人のチェックが必要と考えます。
・薬剤師さんもいると良いと思います。
・事例検討の時間は短く感じました。